

新入職員紹介



Mao
Kimata
木俣 麻生
(3階病棟)看護師

看護科のある高校のオープニングスクールに参加し、看護師という職業への憧れが強くなり、身体的にも精神的にも苦痛を軽減できる看護師になりたいと思い、目指しました。そして、子供の頃にお世話になった協立病院で働くことになりました。まだまだ未熟なところがありますが、患者さんの話を聞き、生活支援・看護に務めていきたいと思います。



Yuki
Ueno
上野 有輝
(3階病棟)看護師

医療職を目指したきっかけは、直接人の役に立てる仕事だからです。患者さんに信頼される看護師になることを目標に、日々成長できるように努力しますのでどうぞよろしくお願ひします。



Aya
Obayashi
大林 綾
(4階病棟)看護師

自宅で祖父を見取った時に、もっと何かしてあげたかったのにできなかった。その体験が医療職を目指したきっかけです。患者さんの気持ちに寄り添い、向上心を持ち続け、家庭と仕事の両立をすることが目標です。患者さん、ご家族、スタッフの方々から、たくさんの事を学び成長していきたいと思います。よろしくお願いします。



Ayaha
Cikamoto
近本 彩葉
(4階病棟)看護師

看護師の母に小さいころから話を聞いていた興味を持っていました。また、ドラマで見た看護師さんが天真爛漫で、患者さんの何気ない言葉や表情に気づいて寄り添う姿に憧れました。忙しい日々の中でも自分の思いで看護するのではなく患者さんの気持ちを優先できるようにコミュニケーションを大切にし、患者さんの代弁者として行動できるよう頑張ります。成人看護は初めてでわからないことだらけですが、よろしくお願いします。



Yuto
Sakakibara
榎原 悠斗
(リハビリテーション課)
理学療法士

元々、スポーツに関係する仕事をしたいと思っていました。高校生の時に部活のチームメイトがケガをして、リハビリ後に復帰するのを見て、医療の現場からスポーツを支えたいと考えるようになりました。患者さんによりよい医療を提供できるよう、スタンダードだけでなく特色のある治療ができる理学療法士になるのが目標です。右も左も分からぬ状態ですが、よろしくお願いします。



Sakura
Sakota
迫田 さくら
(リハビリテーション課)
作業療法士

父が仕事中にケガをして作業療法士の方にお世話になったことが医療職を目指したきっかけです。今でも感謝していると話す父の姿を見て人の役に立てる素敵なお仕事だと思いました。喜ぶ笑顔を見ることが好きなので、患者さんやご家族から『ありがとうございます』と感謝される作業療法士になります。まだまだ未熟ですが、他のスタッフの方々から多くのことを学び、少しでも患者さんの安心や笑顔に繋がるよう日々取り組んでいきたいと思います。



Rina
Oshiman
大志万 莉菜
(4階病棟)看護師

高校でマネージャーをしたことが医療職を目指したきっかけです。人を支え、こんな自分でも何かに貢献できることがとても嬉しく、また怪我をした人の手当をして感謝されたりするところに医療職に近いものを感じました。目標は患者さん一人一人と向き合っていくことです。少しでも地域医療に貢献できるよう笑顔を忘れず頑張ります。

食中毒予防の3原則を知っていますか？

すでにご存じの方も再度確認してみてください。

3 食べ物や調理器具に付着した細菌をやっつける

加熱によりほとんどの細菌は死滅します。中心部を75°Cで1分以上加熱することが目安です。また肉や魚、卵を使った後の調理器具は洗剤でよく洗い、熱湯をかけ殺菌しましょう！

1 細菌を食べ物につけない

手には様々な雑菌が付着しています。食べ物に食中毒の原因菌やウイルスをつけないよう調理前、生の肉・魚を取り扱う前後トイレ後、おむつ交換や動物に触れた後、食卓に着く前などは手を洗いましょう！

2 細菌を増やさない

細菌の多くは高温多湿な環境で増殖が活発になりますが、10°C以下では増殖がゆっくりになり、マイナス15°C以下では増殖が停止します。増やさないためには、なるべく低温で保存することが重要ですが、冷蔵庫の中でもゆっくりと増殖しますので、早めに食べることが大事です。

予防をしていても…

嘔吐や下痢の症状があり食中毒かなと思ったら、市販の下痢止めなどの薬をむやみに服用せず、早めに医師の診断を受けてましょう。

新任医師紹介



Teppi
Mikami 内科 三上 哲平

医療職を目指したきっかけは、病気で困っている方々の助けになりたいと思ったからです。数学の分野を考えていたこともあります。ですが、やはり人と直接向き合える仕事をしたいと思うようになりました。

京都府の北部で総合診療を学ぶという貴重な機会をいただきましたので頑張りたいと考えています。患者さん、そして地域の方々に貢献できるように努力します。

今はまわりの方々から元気を頂きながら楽しく学べています。私もまわりの方々に元気を与えられるように頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



Toshiyuki
Watanabe 脳神経内科 渡辺 俊之

みなさん、こんにちは。本年3月1日より京都協立病院に勤務しております渡辺俊之と申します。生まれは綾部市内の十倉で、口上林小、東綾中、綾部高を経て、東京で十余年のモラトリアム生活を送ったのち、東北大学で医学を学び37歳で医師免許を取得、京都大学で臨床研修を行い、大津、京都、宇治の病院で神経内科医として、認知症や高次脳機能障害の診断と治療にも携わりました。くわえて直近の7年間は、京都市内の私立大学に新設された言語聴覚士養成課程で教鞭を執りました。4月からは、十倉の実家の至近にある『いこいの村』の診療も担当させていただることとなりました。昔なじみの爺ちゃんや婆ちゃん、また同級生とともに郷里の土に還ることができれば幸せです。どうぞよろしくお願い致します。

今年は例年に比べ早い梅雨入りとなりました。そしてそろそろ気を付けたいのが「食中毒」気候が暖かく湿度が多くなる梅雨から夏にかけて、食中毒の原因になる細菌の増殖が活発になります。食中毒は飲食店などで食べる食事だけではなく、家庭での食事でも発生しています。食中毒の原因となる細菌の代表的なものとして腸管出血性大腸菌(O157、O111など)、カンピロバクター・サルモネラ属菌などがあります。

食中毒